

ときめきMarché

~マルシェ~

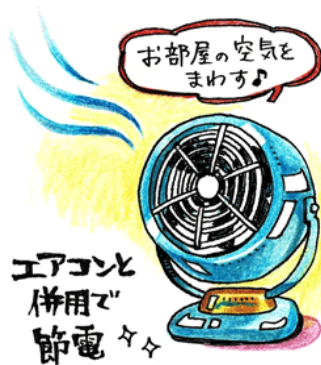


ボルネード
サーキュレーター

暑い日は、長時間のエアコンの使用が欠かせませんが、電気代が高騰している昨今は躊躇してしまうことも。サーキュレーターを併用することで、室内の空気を効率よく循環させ、電気代を節約することができます。

【扇風機とサーキュレーターの違い】

扇風機は、広範囲に風を起こしますが遠くまでは届きません。サーキュレーターは、空気を循環させることが目的のため、風を直線的に遠くまで届けます。壁や天井に向けることで、空気を攪拌し、気温のムラがなくなるのでエアコンが効率よく機能し、体に当たる風で体感温度も変わります。エアコンの設定温度を1度上げると、消費電力が約13%削減できるといわれているので、併用することで大きな節電効果を得られます。



【ボルネードのサーキュレーター】

サーキュレーターを世界で初めて開発したのが、アメリカのメーカー「ボルネード」です。あえて首振りはさせず、パワフルな竜巻状の風を生み出し、周りの空気を巻き込みながら、天井や壁をつたい、室内にそよ風のような優しい気流を作り出します。部屋の広さに合わせて様々な種類がありますが、特に丸みのあるクラシックタイプはインテリアとしてもおしゃれで素敵です。

暑い日はもちろん、雨の日は除湿効果がアップ。春秋には窓を開けて換気に使ったり、冬も暖気を効率よく部屋中に届けてくれるので、1年中大活躍してくれますよ。

暮らしのエッセンス

心のこもった暑中見舞い

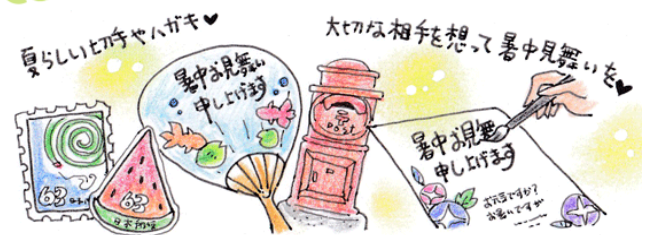
届くと嬉しい暑中見舞いのハガキ。やりとりが少なくなった今こそ、出してみませんか？

◆暑中見舞いを出す期間は？

二十四節気の「小暑」の7月7日頃から8月7日の「立秋」の前日までに出すのがベストです。梅雨が明けたら出す、というように覚えておくと便利です。立秋以降に出す場合は残暑見舞いで出します。9月になっても残暑は続きますが、残暑見舞いは8月中に出すようにしましょう。

◆ハガキの種類

郵便局から発売されている「夏用ハガキ」は涼しさを感じられて、気軽に出せます。和紙などの紙質やペンにこだわって、ゆっくり書



くのも楽しいですね。親しいお友達には、うちの形の暑中見舞いなどを送ってみては？（※うちわ型は規格内定形外郵便になるので、窓口で郵便料金を確認してください。）

◆切手で涼しさを

郵便局から毎年6月に発売される「夏のグリーディング」切手は、季節感満載で受け取った人の心が和みます。

蝉の声を聞きながら、机に向かって送る人を想う時間、大切にしたいですね。